

うじたわら

議会だより

No. 103

2020.5.1

令和二年
度

学
式

維孝館学園
宇治田原町立田原



さらなる財政改革の取り組みを
(令和2年度予算可決)

2p~6p

議員報酬削減条例制定

10p

町政ズバリ聞く (一般質問)

11p~20p

インタビュー (宇佐美まりさん)

21p

高齢者の皆さまと懇談

22p~23p

=新一年生=

わくわくドキドキ...

べんきょうも あそびも

がんばります

さらなる財政改革の取り組みを

第5次まちづくり総合計画の後期計画、第2期地域創生総合戦略の開始年度

新たな地方創生のステージへ

健やかに安心して暮らせるまち

- 多機能消防車資機材整備事業 834万円
- 健康増進計画等策定事業 233万円



便利で快適に過ごせるまち

- 公共交通利用推進事業 915万円
- 急速る過機改良事業 1億6060万円



活気にあふれる交流のまち

- 「ハートのまち」移住定住奨励金 450万円
- ふるさと納税推進事業 4999万円



子育てと学びを応援するまち

- 保育充実事業 1億4005万円
- 総合文化センター改修事業 5524万円



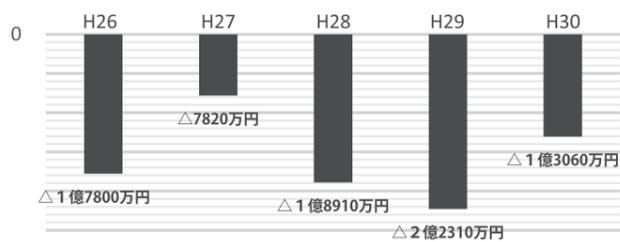
財政改革の推進が必要

実質単年度収支のマイナスが続いており、不足額は財政調整基金（令和2年残高は2億6500万円の見込み）を取り崩している。毎年度収支の均衡を保持するため、早期の財政改革の取り組みが求められている。

※実質単年度収支とは

単年度の収支に、黒字要素（財政調整基金積立金、地方債繰上償還額）や赤字要素（財政調整基金取崩し額）を加減したもので、その年度の収支が実質的にどのような状態であったかを検証する指標。

実質単年度収支の推移



未来に「希望と責任」が持てる 活力と魅力のあるまちづくりの推進

まちづくりの根幹をなす重点事業の推進、人口減少対策と、定住化の実現及び少子化・高齢化の人口構造の改善を図るため、過去2番目の規模となる58億1300万円の当初予算

可決

令和2年第1回定例会は、3月2日から26日まで開催した。予算関係12件（補正予算6件、当初予算6件）、条例関係12件（制定2件、改正10件）、一般議案4件（道路認定1件、契約2件、その他1件）、人事関係1件、発議2件（制定1件、改正1件）が提出され、すべて原案通り可決・同意した。
一般質問には9人の議員がたち、活発な議論を展開した。

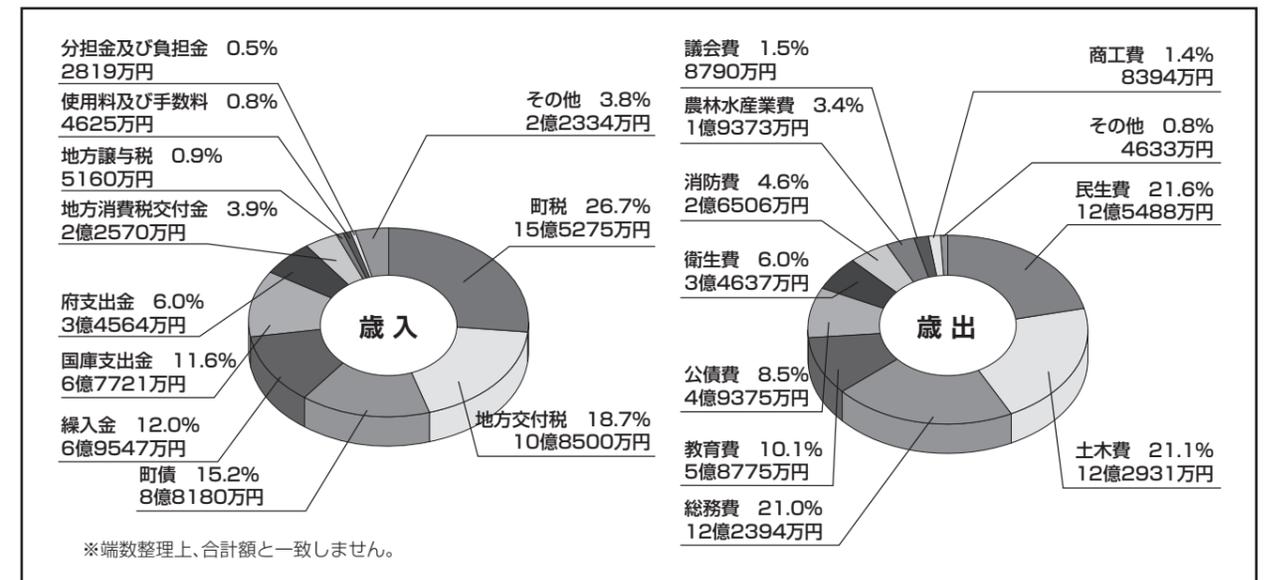
会計別の予算

(千円以下切捨て)

会計名	予算額	前年比(%)
一般会計	58億1300万円	△6.3
国民健康保険特別会計	10億8731万円	△1.1
後期高齢者医療特別会計	1億3715万円	18.6
介護保険特別会計	7億8734万円	0.6
水道事業会計	5億9295万円	4.3
下水道事業会計	9億5285万円	△6.7
総額	93億7063万円	△4.3

一般会計

(千円以下切捨て)



定例会

定例会

予算特別委員会では、委員長に垣内秋弘議員、副委員長に馬場哉議員を新たに選任し、令和2年度当初予算及び令和元年度補正予算に関する審査を行った。

当初予算

総括質疑

山手線建設促進を

山手線について、府への要望のみのスタンスから町も汗をかくとのことだが、全線完成は何年後と考えているのか。



山手線(緑苑坂以北)

国・京都府と連携し、町も汗をかき気概のもと、整備に向けた全体計画を共有したうえで、10年を目標としたい。

幸福度を感じる予算とは

施政方針で数多く使われている「幸福度」。各施策の連関を、どのように考えているのか。

整備など安心な暮らしから定住促進の「ハートのまち」まで、ハード・ソフト両面から事業を具体化していく。

と今後の財政改革の取り組みを、町長自ら住民に伝えるべきでは。

遊ぶスペースが整備され、大きな公園もある中で、遊びを安全に楽しめるメニューが増える。施設内と屋外とがつながり、動きのある時間を過ごせると考えている。

なぜ子育て世代が負担増か

高校生通学費補助の減額、給食費の値上げなどは、総合計画改定の答申や住民の意向に逆行するのでは。

だが、さらに地域ブランドを高めるため、町内企業に対して参加の要請も重要と考えるが。

宇治田原おいしい水道水PR事業について、ふるさと納税や町内企業と連携することのだが、PR方法など今後の展開についての考えは。

ふるさと納税をいかに伸ばすか

ふるさと納税が好調だが、さらに地域ブランドを高めるため、町内企業に対して参加の要請も重要と考えるが。

シティプロモーションの一環であり、移住定住につながる一つの切り口である。お茶にあう水としてふるさと納税の返礼品とセットすることや、イベント時の配布などを考えている。

財政改革の推進は

徹底した歳出削減をしないと、新しい時代に踏み出せない。財政状況

地域子育て支援事業は支援センターの7月移転を機に変化するのか。

人口減少対策や移住定住を促進する状況の中、高校生の通学費補助金を減額し、保護者に負担増を求めることについて

でどう考えるのか。

議会からの付帯意見を重く受け止め、3年間全額給付を実施してきたが、財政が非常に厳しい中で聖域を設けずに再

チェックを実施した結果である。負担を強いることについては非常に心苦しいが、一定負担はただ

中で補助するべきではなくで補助するべきではこの結論に至った。

住民の命と暮らしを守る町政を

山本精議員

来年度、町債発行が8億8千万円を超え、実質残高が40億円を超える。財政調整基金はわずか2億6500万円となり、将来の財政負担への禍根を残す。新庁舎建設、新都市公園などの大型予算が計上される一方で、高校生通学費補助の減額など、子育て世代への負担を強めている。住民生活が厳しい中、町は住民の命と暮らしを守る地方自治体の役割を発揮することを求める。

国保会計

(議案第8号)

なぜ繰入金金を減らす

一般会計からの繰入金金が1943万円減額となっている。人間ドッグや特定保健指導など、住

民にとって大事な事業に関係する繰り入れをなぜ減額したのか。

他会計への繰出金の抑制として、法定外分については一定の見直しを行い、基金等の活用を優先することとした。

後期高齢者医療会計

(議案第9号)

低所得者の軽減は

保険料が大幅な値上げとなる。低所得者への軽減はどうなるのか。

特別措置として基礎控除額が33万円以下の所得の方は8・5割から、7・75割軽減になる。

反対討論

保険料の引き上げは高齢者の安心に逆行

今西久美子議員

保険料が9593円もの増額で年8万5951円となる。被保険者の多くは年金生活であり、保険料の負担増は後期高齢者の安心とは逆行する。存続すればするほど負担増を強いる本制度は、廃止すべき。

介護保険会計

(議案第10号)

訪問介護サービスは

訪問看護サービスについて、需要と供給のバランスは。

町外で訪問看護の事業所が増え、町内に入っていただけの事業所も増えているため、サービスが不足している状況ではない。

水道事業会計

(議案第11号)

ろ過機の更新は

急速ろ過機改良事業について高額であるが、装置、システム等、どの程度の更新になるのか。

浄水場に設置している5基のろ過装置の内、創設時の2基を撤去し、1基を設置する。事業費には、ろ過機本体、電気計装設備、撤去費、中央監視設備の変更費用を含んでいる。



浄水場のろ過装置を確認

国民健康保険税率例の一部改正

(議案第19号)

京都府の示す標準保険料率をもとに、保険税率等を設定するため改正するもの。

保険税率の見直しで、どのぐらいの影響額となるのか。

1人当たりの平均額は、約2700円の増額となる。

反対討論

保険税の引き上げ回避を

今西久美子議員

来年度の国民健康保険税は1人当たり平均約2700円の引き上げとなる。国保は福祉との立場から、人間ドッグや健康対策事業に対する一般会計からの繰り入れを減らすことなく、保険税の引き上げを回避すべき。

定例会

宇治田原町第5次まちづくり総合計画(基本構想・基本計画)及び宇治田原町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定
(議案第28号)

平成27年度に作成した第5次まちづくり総合計画等の見直しを図るもの。

宇治田原山手線について、開通時期が明記されていないが見込みは、山手線全線開通をめざすことにより、位置づけが非常に重要。開通年度等は明記していないが、いち早く山手線を全線開通することも、土地利用、企業誘致にも引き続き取り組む。

反対討論

「まちづくりの主役は住民」を肝に銘じよ

今西久美子議員

小中学校の施設一体型については、住民への説明も住民的議論もないまま決定された。人口減少に歯止めをかけるためにも、小中学校は今のまま残すべき。また大事なことは住民の合意で決めること、まちづくりの主役は住民であることを肝に銘じ、町政を進めるよう求める。

将来人口を1万人から8千人に下方修正する。町長の重要三本柱、まちづくり、拠点づくり、未来づくりでは人口は増えない。今、町がやるべきことは、子育て世代の要求に応えること、全ての世代の住民の暮らしを支えることなど、本来の自治体の役割をしっかり進めることであり、それが人口増と地域経済の発展につながる道であると考えます。

令和元年度補正予算

一般会計

(議案第1号)

新庁舎建設寄附金は

新庁舎への寄附金3千万円が補正されているが、3月末までに寄附の見込みは、2月末での実績は631万円であるが、それ以降、複数の方から寄附の申し出をいただいております。予定額は達成できると考える。

GIGAスクール構想は、全学年の児童生徒が、それぞれ端末を持つとしているが、

令和2年度についてはLAN整備等を含めた環境整備を行い、3年度から5年度にそれぞれ割り振りをし、全学年に配備を考えている。

反対討論

追加分は軟弱地盤が要因

山本精議員

新庁舎建設に3千万円の追加補正は、指摘してきた軟弱地盤が要因となったものが大きい。庁舎にかかる費用をおさえるべきとの声がある中、多額の追加補正には反対。大福茶園は来年春には必ず入植できるよう事業を進めよ。

宇治田原町新庁舎建設工事請負契約の一部変更

(議案第26号)

新庁舎建設工事請負契約を変更し、16億765万3900円とするもの。

残土処分量の変更は支障がないのでは

残土の処分量の変更については支障がない範囲であると思うが、なぜ変更に至ったのか。庁舎や公園、道路整備

備を総合的に進める中、庁舎のGL(地盤面の高さ)を基本としてきた。高さが違うと、その分費用が必要になる。様々な検討をした結果である。

約1年半の工期がある中、もっと早い時期に変更できなかったのか。他項目の変更についても、一定まとめて報告すべきとの考えのもと進めてきたが、発生した段階で報告するのが本来であったと反省している。

反対討論

多額の増額には納得できない

今西久美子議員

新庁舎建設工事請負契約が約7900万円の増額となる。7500万円もかけて設計したにもかかわらず、なぜ杭の長さ20mもの差があるのか。軟弱地盤であることは何度も指摘してきた。今さら、地盤改良に約2千万円も追加するなど納得できるものではない。



建設中の新庁舎

総務建設常任委員会

人事案件

人権擁護委員の推薦同意



木谷 茂和氏

(湯屋谷)

任期 令和2年7月1日～令和5年6月30日

表彰

全国町村議会議長会創立70周年記念表彰
永年功労者表彰
議員として30年以上在職者

下岡 周之氏

全国町村議会議長会表彰

議会議員として15年以上在職者

垣内 秋弘氏

京都府町村議会議長会表彰

議会議員として11年以上在職者

原田 周一氏

田中 修氏

行政組織の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定(議案第13号)

新庁舎への移転を機に、今後の本町のまちづくりの変化に対応するとともに事務の効率化・迅速化を図り、住民にとってわかりやすく利用しやすい組織とするべく、関係条例を整備するもの。

部制廃止に伴う各課間の連携は

新庁舎移転に伴い部制が廃止されるが、今後の各課間の連携は、フラット化を図り、

教育委員会や上下水道課が新庁舎で業務を開始することで、横のつながりも強化され、効率的で迅速な対応が可能となり、

住民が利用しやすくなると考えている。

当面の間、理事職を置くとは。

部制廃止に伴い、現部長を当面の間、理事として配置するもの。

宇治田原町一般職の任期付職員採用等に関する条例の制定

(議案第14号)

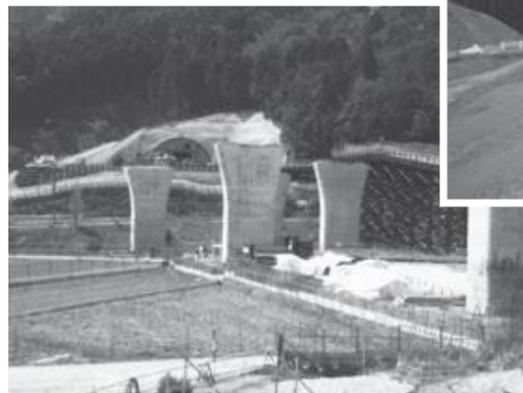
高度な専門知識や経験、優れた識見を有する者等を特定の目的のために期限を限って採用するため制定するもの。

特定任期付職員とは

京都府の退職者について、特定任期付職員・一般職任期付職員・任期付職員との区分で採用するもの。



早期完成が期待される新名神と山手線



定例会

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	山内	山本	今西	垣内	田中	原田	馬場	松本	谷口	浅田	藤本
決議	決議案第1号	新型コロナウイルス感染症対策の迅速かつ総合的な取組を求める決議について (感染抑制等、事態収束に向け取組を求める決議)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
発議	発議第1号	宇治田原町議会の議員の議員報酬の特例に関する条例を制定するについて (期限を定め議員報酬の一部を減額するもの)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
発委	発委第1号	宇治田原町議会委員会条例の一部を改正する条例を制定するについて (組織条例の改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
人事	議案第29号	人権擁護委員候補者の推薦について (木谷茂和氏の推薦)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
令和元年度補正予算	議案第1号	一般会計補正予算(第4号) (小中学校校内通信ネットワーク整備事業等の追加、各種事業の決算見込みなど) 【2億5645万円追加】	✓		可決	○	●	●	○	○	○	○	○	-	○	○
	議案第2号	国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号) (補助金及び拠出金の確定など) 【1205万8千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	議案第3号	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (保険料の調定額の増加など) 【476万8千円追加】			可決	○	●	●	○	○	○	○	○	-	○	○
	議案第4号	介護保険特別会計補正予算(第3号) (保険給付費の決算見込みなど) 【保険1608万9千円減額、サービス252万円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	議案第5号	水道事業会計補正予算(第3号) (各種事業の決算見込みなど) 【収益的収入1000万円減額 支出367万8千円減額】 【資本的収入1159万円減額 支出5310万6千円減額】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	議案第6号	下水道事業会計補正予算(第2号) (各種事業の決算見込みなど) 【収益的収入140万円減額 支出67万9千円減額】 【資本的収入152万1千円追加 支出30万円減額】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
令和2年度当初予算	議案第7号	一般会計予算 【58億1300万円 前年対比6.3%減】	✓		可決	○	●	●	○	○	○	○	○	-	○	○
	議案第8号	国民健康保険特別会計(事業勘定)予算 【10億8731万7千円 前年対比1.1%減】			可決	○	●	●	○	○	○	○	○	-	○	○
	議案第9号	後期高齢者医療特別会計予算 【1億3715万4千円 前年対比18.6%増】	✓		可決	○	●	●	○	○	○	○	○	-	○	○
	議案第10号	介護保険特別会計予算 【7億8734万9千円 前年対比0.6%増】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	議案第11号	水道事業会計予算 【5億9295万1千円 前年対比4.3%増】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
	議案第12号	下水道事業会計予算 【9億5285万9千円 前年対比6.7%減】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
条例制定	議案第13号	行政組織の改正に伴う関係条例の整備に関する条例を制定するについて (新庁舎への移転を機に、住民にとって利用しやすい組織とするため、関係条例の規定整備を行うもの)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	山内	山本	今西	垣内	田中	原田	馬場	松本	谷口	浅田	藤本	
条例制定	議案第14号	宇治田原町一般職の任期付職員の採用等に関する条例を制定するについて (地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律に基づき、制定するもの)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
条例改正	議案第15号	宇治田原町長等の給料の額の特例に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (期限を定め町長等の給料の一部を減額するもの)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
	議案第16号	宇治田原町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
	議案第17号	宇治田原町印鑑条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律改正等に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
	議案第18号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
	議案第19号	宇治田原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を制定するについて (保険税率等の変更に伴う条例の一部改正)	✓		可決	○	●	●	○	○	○	○	○	-	○	○	
	議案第20号	宇治田原町企業立地促進条例の一部を改正する条例を制定するについて (既定の失効期日延長に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
	議案第21号	宇治田原町町内雇用促進条例の一部を改正する条例を制定するについて (既定の失効期日延長に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
	議案第22号	宇治田原町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
	議案第23号	宇治田原町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律改正等に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
	議案第24号	宇治田原町監査委員条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
	その他	議案第25号	町道路線の認定及び廃止について (町道1の1号線、2の25号線の廃止及び認定)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
		議案第26号	宇治田原町新庁舎建設工事請負契約の一部変更について 【変更後契約金額 16億756万3900円】	✓		可決	○	●	●	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第27号		都市計画道路宇治田原山手線建設工事委託に関する協定の一部変更について 【変更後協定金額 9億6606万2101円】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
議案第28号		宇治田原町第5次まちづくり総合計画(基本構想・基本計画)及び宇治田原町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について (第5次まちづくり総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の改定)	✓		可決	○	●	●	○	○	○	○	○	-	○	○	

◎谷口整議長は賛否同数以外は表決に加わりません

表決結果

表決結果

一般質問

ズバリ! 町政を問う

3月5日~6日



一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

質問者	質問事項
1 藤本英樹 (12p)	1. 町長の政治姿勢について 2. 新型コロナウイルス対策について 3. 有害鳥獣対策について
2 松本健治 (13p)	1. 国際交流と「多文化の共生」について 2. 令和2年度の施政方針(政治姿勢)について 3. 町内外への情報発信について
3 山本 精 (14p)	1. 子育て支援について 2. 有害鳥獣被害対策について
4 垣内秋弘 (15p)	1. 新庁舎へのアクセス道路について 2. 自治功労者表彰制度について 3. 新学習指導要領の実施について 4. 国道307号と第一南北線交差点部の整備について ●町長の政治姿勢について

質問者	質問事項
5 今西久美子 (16p)	1. 住民の利便性向上について 2. ゲーム障害について 3. 自然を守る対策について
6 原田周一 (17p)	1. 住宅建設について 2. 教育問題について
7 馬場 哉 (18p)	1. 企業誘致について 2. キャッシュレス社会への行政の対応 ●財政状況について
8 山内実貴子 (19p)	1. 公共交通の利用拡大について 2. 災害に強い町への取り組みについて
9 浅田晃弘 (20p)	1. 「関係人口」の創出について 2. 本町の将来ビジョンについて ●高齢者パワーの活用と生きがいづくりについて

●印の質問事項は本紙には掲載していません

傍聴のご案内

宇治田原町議会を傍聴しませんか。傍聴券は本会議・委員会当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。

議員報酬を削減

全会一致で可決

発議第1号

宇治田原町議会の議員の議員報酬の特例に関する条例を制定

- 1) 報酬月額削減率(期末手当にも適用)
議長 10%
副議長、委員長、議員 5%
- 2) 期間
令和2年4月1日~令和4年3月31日
- 3) 施行期日
令和2年4月1日

【提案理由】

議員報酬については、「宇治田原町特別職報酬等審議会」において総合的に検討され、「据置きが妥当」との答申がされたところではあるが、議員自らが現在の厳しい財政状況に鑑み、期限を定め議員報酬の一部を減額するため、特例的に本条例を制定するもの。

*発議とは・・・議員が議案を提出すること

決議

新型コロナウイルス感染拡大防止を

全会一致で可決

決議第1号

新型コロナウイルス感染症対策の迅速かつ総合的な取組みを求める決議<抜粋>

新型コロナウイルス感染症が急速に拡散し、世界的な脅威となっている。

我が国では、感染者が拡大する中、「新型コロナウイルス感染症対策本部」が設置され、小・中・高等学校、特別支援学校の全国一斉臨時休業など感染拡大の防止に向けて全力で取り組まれているが、予断を許さない状況が続いている。

宇治田原町においては、住民の命と健康を守ることを最優先に、国、府、関係団体と十分に連携

し、感染拡大の防止、住民生活の安心・安全確保に向けて全力で取り組むよう強く求める。

宇治田原町議会としても、住民の安心・安全確保のため、行政と連携・協力し、感染抑制、事態収束に向けて取り組みを進める。

以上、決議する。

令和2年3月12日

宇治田原町議会

2期目総仕上げの取り組み方は

【答】新しい時代へ踏み出す

【質問】

2期7年間、町政を担ってこられたが、総仕上げの年の取り組み方は。

【答弁(町長)】

7年間で「希望と責任」が持てる活力と魅力あるまちづくりを実施できたと評価している。きたと評価している。予算案に掲げる施策・事業を着実に実施し、新しい時代に踏み出すまちづくりに努めていく。

【質問】

限られた財政の中で、何に投資することが良いのか「選択と集中」が必須となる。時には、一歩立ち止まる必要性も生じるのでは。

【答弁(町長)】

事業執行の点検・見直しを行い、効果的な事業に取り組んでいく。



藤本 英樹 議員

新型コロナウイルス対策は

【答】適切な情報提供で対応する

【質問】

中国の武漢から世界各国に広がりをみせた新型コロナウイルスが猛威を振るっているが、本町の対策は。

【質問】

小中学校の一斉休校による現場の混乱、小学校低学年や受験生を持つ保護者の不安解消への対処法は。

【答弁(副町長)】

各種イベントの中止や延期を決定し、広報活動することで、適切な情報提供を行い、対応している。

【答弁(教育長)】

学童保育の支援員確保、受験生への教室開放など、保護者、小中学校と連携を取り対処している。



西谷町政2期目集大成となる新庁舎建設事業

激増する外国人との共生社会を

【答】先進的な取り組みを調査研究する

【質問】

本町でも外国人労働者が、激増している。町内事業者も事業運営上、必要な人材であり、まだ増える要素がある。地域でも「多文化共生」の対応で、「国際交流協会」の設置や諸施策を実施すべきでは。

【質問】

英語圏の国際交流が進まないが、本町で生活している外国人との国際交流ができないものか。

【答弁(総務部長)】

昨年は、地域での行事機会を設けていく。



松本 健治 議員

町長も自らSNSの発信を

【答】新しい宇治田原を自ら発信へ

【質問】

昨今自治体の首長が、自らSNSを発信している。さらに自治体の動きやイベントについて、1日に複数回発信し、知名度を高めている。町長もSNSを通じて「日本緑茶発祥のまち」「ハートのまち」を積極的にアピールしては。

【答弁(町長)】

新庁舎建設事業も大詰めを迎えており、6月竣工・7月開庁式を経て、新しい宇治田原のまちづくりが始まる。「茶文化の歴史と伝統」を核とした「ハートのまちうじたら」を、より積極的に発信する必要がある。私も前向きに検討していく。

教育のまちを内外に発信しては

【答】本町の特徴ある教育を内外に発信

【質問】

未来を託す子ども達のために、4年後の令和6年度開校(小中一貫教育)に向けて、取り組みが進んでいる。「教育のまち宇治田原」といった魅力あるアピールを、町内外に発信しては。

【答弁(町長)】

まちづくり総合計画審議会の答申内容でも、「教育がまちづくりの根幹である」との意見があった。「住民総ぐるみによる教育」に向けて、新たな戦略を掲げ、本町独自の特色ある教育を内外に発信する。

「サルイチ」導入を検討しては

【答】被害軽減に向け、今後検討する

【質問】

野猿の追い払い対策として、被害状況の調査や、野猿等の追い払い事業(モンキードッグ試行)を実施しているが状況は。

【質問】

野猿の位置情報をメールで知らせる「サルイチ」を導入できないか。

【答弁(産業観光課長)】

農作物被害は若干増加傾向にあり、モンキードッグ試行は野猿追い払い隊と連携し、リードを繋いだ状態で実施している。

【答弁(建設部長)】

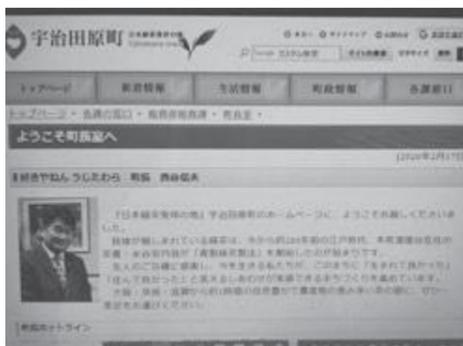
は、日々の現地調査や情報収集が必要となる。今後も追い払い隊やモンキードッグの導入に関する取り組み、「サルイチ」については今後検討していく。



どこで出没するかわからない野猿



成人式も国際化に(ベトナム人のタオさんとクエンさん)



町のホームページで、情報発信を

医療費を高校卒業まで無料に

【答】負担が大きい子育て世帯を支援



山本 精 議員

【質問】
子育てにやさしい宇治田原をめざし、人口の流出を食い止め、保護者の負担軽減を図るため、昨年9月から、医療費にかかる府の制度が拡充される。

【答弁(介護医療課長)】
子育て支援医療費支給は、府制度に3歳から中学校修了までの通院に係る自己負担額分を町独自で上乗せしている。府の助成制度拡充に伴い、町負担は約150万円減少するが、高校生まで対象を拡充した場合、医療費は約8百万円程度の増加が見込まれる。特に医療費負担が大きい子育て世帯をしっかりと支援していく。

【質問】
憲法26条で、「義務教育は、これを無償とする」と定めている。「学校給食は教育の一環として位置づけられている」と、柴山元文科学大臣も国会で答弁している。給食費の無償化は伊根町で始



無償化が望まれる給食

【質問】
「うじたわらの日」の実施、児童生徒のリクエスト給食、保護者・住民試食会や食育に係る授業等、児童生徒・保護者に給食の意義や役割を伝えている。給食費については、PTAと協議を行い負担に理解をいただいている。

【質問】
野猿にGPS首輪、発信機を取り付け、行動を把握し住民に情報提供しては。

【答弁(産業観光課長)】
今年2月、新たに発信機を取り付け、昨年末にはGPS首輪も同じ群れ



野猿の位置をつかめる受信機

GPSを活用し野猿の情報提供を

【答】情報提供できるシステムを作る

【質問】
野猿にGPS首輪、発信機を取り付け、行動を把握し住民に情報提供しては。

【答弁(産業観光課長)】
今年2月、新たに発信機を取り付け、昨年末にはGPS首輪も同じ群れ

賛田立川線の早期完成は

【答】アクセス向上のため鋭意取り組む



垣内秋弘 議員

【質問】

新庁舎へのアクセス道路である賛田立川線は、庁舎の完成時期に合わせて取り組んできたが、遅れている要因と今後の見通しは。

【答弁(まちづくり整備推進部長)】
要因は、宇治田原山手

「自治功労者表彰」基準の見直しは

【答】町制65周年を機に検討する

【質問】

本町の表彰制度の基準については、他の市町と大きく異なる。現状の表彰対象者は町長及び議員が大半であり、町への功績が顕著な人を表彰する制度に見直すべきではない。

【答弁(副町長)】

自治功労者表彰制度が本町にとって良いものとなるように、近隣市町の状況を調査し、令和3年度の町制施行65周年の記念表彰を機に検討したい。

新学習指導要領の準備と体制は

【答】準備と体制づくりの問題はない

【質問】

令和2年度から実施される新学習指導要領に向け準備と体制づくりは。

【答弁(学校教育課長)】

また、小学校の英語教育の本格導入は万全が「主体的・対話的で深い

国道と南北線交差点の安全対策は

【答】早期完成に向け関係機関に要請

【質問】

国道307号と南北線の交差点付近での車両増加に伴い、交通安全対策上、信号機の設置及び右折レーン、隅切りの早期整備が必要であるが見通しは。

【答弁(副町長)】

信号機は交通量や周辺の既設信号機との距離が課題。また、右折レーンは今後一日も早い事業着手と早期の完成に向け、関係機関と協力し取り組む。



早期完成を(賛田立川線)



対策が待たれる国道と南北線交差点

路線バスの運賃補助を

【答】バスの利用を促進していく

【質問】 路線バスの減便が続いているが、宇治田原町にはなくてはならない公共交通である路線バスの充実についての考えは。

【答弁(建設環境課長)】 バス会社に要望しても増便は難しく、現在の便の維持すら困難な状況。多数の方に、より多くバスを利用していただけるよう取り組む。

【質問】 緑苑坂のバス補助券が有効とのこと。利用促進のために、他地区でも発行し、運賃を補助しては。

【答弁(建設環境課長)】 まずバスに乗ることを生活習慣として身に付けていただくことが大事。



緑苑坂のバス補助券を他地域にも

【質問】 高齢者や免許のない方から「新庁舎へはもう行けない」「こんなに遠い」との声を聞く。ア

【答弁(建設環境課長)】 クセスをどうするのか。【答弁(建設環境課長)】 路線バス運行は難しい。町営バスの乗り入れを考えている。

ゲーム障害への対策は

【答】学習や保護者への啓発に努める

【質問】 ゲーム障害は、ゲームに熱中しすぎることや日常生活に支障が出る病気。特に小中学生は短期間で重症化する。兆候を早めに知り、対処することが大事。子どもたちの実態は。

【答弁(学校教育課長)】 ゲーム依存になると、体力や学力の低下が懸念される。学校や保護者とともに対策を考えることが必要では。

【質問】 ゲーム依存になると、体力や学力の低下が懸念される。学校や保護者とともに対策を考えることが必要では。



今西久美子 議員

ワンルールの規制緩和は

【答】定住対策のため鋭意取り組む

【質問】

町長は人口減少対策と移住定住対策の推進に心血を注いできたこと述べられている。工業団地には一人暮らしの若者も町外から多く通勤されている。

【答弁(建設環境課長)】 快適安全な町づくり条

【質問】 例を制定し、指導している。住宅分譲では最低敷地面積165㎡、約50坪と定めている。集合住宅は1室の最低面積を55㎡とし、小規模のワンルーム形式の建築は原則断っている。企業が自社の従業員の住まいを確保・整備する場合は、施設の一体的管理を前提として、面積緩和の対応をしている。

【質問】 工業団地には約500から600人の若い独身者が従事している。人口減少の問題・税収の確保の問題など考慮すると若い人を呼び込むことが大



原田周一 議員

【答弁(副町長)】 これまでも「町内で働く人には、町内に住んでもらう」方向を掲げ空家活用に取り組んできた。またまちづくり総合計画審議会でも労働者の住居確保が移住定住にもつながるとの意見がある。

【質問】 「移住だけでなく定住」、また暮らしの「幸福度」を高めることも重要な視点としている。新しい時代における定住対策のため「働く事」を一体的に考え鋭意取り組む。



京田辺市内のワンルーフマンション

【答】保健所と連携し取り組む

【質問】 近年、宇治田原の豊かな自然や景観が心配な状況。郷之口地区では大量の産廃が放置されている。府に対し、住民の立場で強力な指導を求めよ。

【答弁(建設環境課長)】 豊かな自然環境を後世に残していかなければならない。産廃廃棄物の投棄については、保健所と連携し、解消に取り組む。



郷之口地区に置かれた産廃

家庭教育支援条例制定を

【答】条例の制定は難しい

【質問】

令和元年6月議会において、子どもの居場所作りの観点から条例の制定が必要との提案に対し、不登校の未然防止・引きこもりの問題等の解決という観点からも研究課題であると答弁された。その後9カ月経過したが現状は。

【答弁(学校教育課長)】 不登校・引きこもりは個々の事情があるため、実効性が問われるところである。学校や福祉関係機関と連携を図り、丁寧に対応したい。家庭教育を重点と位置付け、居場所や家族の安心について考える機会を増やしていきたい。



維孝館中学校

宇治田原町初女性防災士

う さ み
宇佐美 まり さん

今年宇治田原町で、女性初の防災士資格を取得された宇佐美まりさんにインタビューしました。



防災士とは、社会の様々な場で減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのために十分な意識・知識・技能を有するものとして、NPO 法人日本防災士機構の認定を受けられた方です。なお、本町の防災士は 24 名となりました。

Q. 防災士資格取得のキッカケは

A. 各種の訓練に参加して防災意識が高まった。昨年の12月議会も傍聴して、女性防災士等育成の話があり、避難所での女性目線の大切さが必要で、積極的な参画をめざして資格取得を決意した。

Q. 防災士として取り組みたいことは

A. 地域に密着した防災意識の啓発と、災害に対する事前の備えがある地域づくりに、少しでも貢献できればと思う。昭和28年の南山城水害を風化させないため、過去の史実を今に生かす活動に取り組みたい。

Q. 宇治田原町の魅力は

A. 自然豊かな宇治田原町。四季それぞれに美しさや味わいがある。そして何より人の温かさに囲まれ、鉄軌道はないが人のつながりがある。ハートのまちが魅力である。

Q. 座右の銘や好きな言葉は

A. 継続は力なり

Q. ご自身の趣味や特技は

A. 着物の着付け（和装師範）



令和元年11月 町総合防災訓練にも班長として参加



昭和28年8月 南山城水害の教訓を胸に

関係人口の創出は

【答】宇治田原ファンの増加に努める



浅田晃弘 議員

【質問】 国は、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で、定住人口でもなく、観光にきた交流人口でもない、地域と多様な形で関わる「関係人口」という切り口で、その創出・拡大に努めることとしている。

町の第5次まちづくり総合計画、総合戦略に、「関係人口」をどのように位置づけているのか。

【質問】 国は、「企業版ふるさと納税の拡充も示している。地方への資金の流れを飛躍的に高める観点から、税額控除や手続きの簡素化等大幅な見直しを実施するとしているが。



宇治田原ファンが集う 交遊庵やんたん

町では、順調に寄附額を伸ばしてきた「ふるさと納税」や国の地方創生の関係交付金を獲得し、交流拠点づくりや環境整備を進めてきた。本町への愛着と交流・周遊につなげる環境づくりを行い、関係人口となる「宇治田原ファン」の増加に努めてきた。第5次総合計画、総合戦略案には、こうした関係人口をさらに増加させるための取り組みを掲げている。

【質問】 京都市消防ヘリコプターに副町長が搭乗されたと聞いています。上空の視点から見た本町の将来ビジョンは。



上空から見た「うじたわら」新名神の橋脚が続く（郷之口付近）

上空から見た将来ビジョンは

【答】広域でのまちづくりが重要

【質問】 平成30年と今年1月に京都市消防ヘリコプターに副町長が搭乗されたと聞いています。上空の視点から見た本町の将来ビジョンは。

【答弁（副町長）】 新庁舎付近や新名神高速道路、山手線の緑苑坂

【質問】 以上の建設など、まちの姿はダイナミックに変わっている。

【答弁（副町長）】 後には自治体間で連携した広域でのまちづくりの視点がさらに重要になってくると改めて認識した。

ワールドカフェ方式での懇談会 経験豊富な皆様のご意見は



懇談会(ワールドカフェ)でのご意見(抜粋)

項目	意見(要望)	
居場所づくりについて	要 望 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のサロンで出前講座の機会増を。 ・町内に小規模老人ホームを。町民が優先的な入所。 ・サロンは良い取り組みだ。スタッフの高齢化が問題。
	要 望	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が地域や子どもに貢献できるような場を。 ・高齢者と子どもが相互交流できるような場があれば、絆が深まるのでは。 ・高齢者対象の文化事業を。(文化系事業がない) ・グラウンドゴルフ場の新設を。
生きがいがづくりに関して	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活などは、高齢者が「おせっかい」を焼いて役に立つ場だ。 ・老人クラブなどの役に付きたくない人が増えている。加入してほしい。
	要 望	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎完成が近づく中、公共交通のルート見直しを早急に。 ・町営バスの運転手に乗客に対する接遇マナーを。 ・高齢者にバス無料券配布や割引価格で利用ができるように。
交通網について	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治田原山手線の早期完成を願う。
	要 望	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に支援を必要とする人の避難訓練の実施を。 ・一人暮らしの人が元気かどうかの合図(旗)があれば。 ・お達者訪問を年2回以上に増やして。 ・介護保険料を安くしてほしい。 ・眼科医院がほしい。
安心・安全について	要 望	<ul style="list-style-type: none"> ・工業団地の人に、本町に住んでもらう取り組みを。(渋滞解消と人口増に効果がある)
	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校では小学校が消え、地域が衰退する。地域にはデメリットもある。 ・「茶音頭」は後世に伝えておきたい。
その他	要 望	



今回のテーマは 高齢者にやさしいまちづくり



本町議会では議会基本条例に基づき、開かれた議会に取り組みますが、その一環として今年も「住民と議会の懇談会」を開催しました。少しでも住民の皆様と議会との間を縮める取り組みで、ご意見を議会活動に、活かすことを目的に開催しました。今回は2月9日(日)に総合文化センターにおいて、テーマ「高齢者にやさしいまちづくり」と題して、懇談会(ワールドカフェ方式)を開催しました。

当日は高齢者を対象に、各地区の高齢者団体の推薦及び公募も含め、23名の方にご参加いただきました。

「住民と議会の懇談会」 ワールドカフェ方式による

第1部
高齢者のための施策(報告)

第1部では、本町が病気や要介護にならず、健康でいきいきと過ごせるよう、認知症や生活習慣病予防に取り組んでいる施策などを報告しました。

- ① 運動(元気はつらつ！若返り塾、おやじエクササイズなど)
- ② 食事(健康キッチン、食の自立支援など)
- ③ 外出移動支援(介護タクシー利用助成、町営バスの運行など)
- ④ その他(介護保険サービス、議会での取り組みなど)

第2部
懇談会

第2部の懇談会は、ワールドカフェ方式によるもので、5グループに分かれて、経験豊富な参加者から、積極的に意見交換されました。高齢者の問題に限らず、町政全般や地域での役割、その他多方面にわたるご意見がありました。

懇談会の参加者アンケート結果に

今後の議会では

議会では、「住民と議会の懇談会」実施後の対応として、皆様のご意見を町政に反映するため、3月12日に書面にて西谷町長に説明・報告をし、回答を求めています。今後、対応策等について、協議を進め、それぞれのご意見について、方向性を導き出していく予定です。

なお、「懇談会」のテーマや参加対象者等の検討を行いながら、より充実した取り組みとなるように図ってまいります。



については、次頁のとおりとなっています。今回も皆さんから比較的高い評価をいただきました。

「住民と議会の懇談会」のアンケート(抜粋)
(当日出席者23人、アンケート回答者22人)

1. 懇談会の満足度について

	良い	←	普通	→	悪い
男性	7	3	4		
女性	2	3	3		
計	9	6	7	0	0

2. 『議会だより』について

	毎回読んでいる	時々読んでいる	ほとんど読んでいない
男性	11	3	0
女性	7	1	0
計	18	4	0

3. ご意見がございましたら(抜粋)

《住民と議会の懇談会について》

- ・この活動はパフォーマンスではと思ったが、姿勢は良い。
- ・こういった場を設けることは良い。ただ意見の尊重を。
- ・高齢者施策でも、高齢者以外の若い人や子供の意見や発想も取り入れては。
- ・元気な高齢者ばかりの参加だ。障がい者や運転免許返納者の参加があれば。
- ・大変よい機会だ。なかなか良い議題意見が出て良かった。
- ・いろんな話を聞いて勉強になった。話し易くて良かった。
- ・すぐ自分への刺激になった。これからは関心を持つようにしたい。
- ・年に3~4回の開催にしてほしい。

《議会活動全般について》

- ・各地域の行事への議員の参加も重要。(住民との懇談という意味で)
- ・非常に活発に活動している。よく頑張っているのでは。
- ・行政への強烈的なアタックが必要。おとなしいのではないか。
- ・各議員の差が大き過ぎる。

《その他の意見》

- ・協議会、審議会等で役割を終えたものは廃止すべき。見直せばもっとある。
- ・高齢者も「受ける」だけではなく「貢献する」に。町の発展につながるはず。
- ・サロンで20~30人の参加者が楽しむ姿を見て、声掛けしながら続けたい。

懇談会

懇談会



桜満開通り抜け(やすらぎの道)



保育所入所式 お疲れですね



ちょっとひとやすみ



はちきれんばかりの笑顔でご入学

編集
後記

今年の冬は比較的暖かく過ごしやすい日が続きましたが、世界各国へと広がりをみせている新型コロナウイルスの感染拡大で、小・中学校の一斉休校や、各種催し物の中止など、日常生活や経済界に大きな影響をもたらしています。

2020東京オリンピック・パラリンピックは1年の延期となりましたが、その分、万全を期して開催してもらいたいものです。

議会といたしましては、住民の安心・安全を第一に考えて対応して参ります。

「議会だより」は、みなさまに親しまれる紙面をめざしております。ご意見、ご感想をお寄せください。

広報編集委員 藤本